

ミズノメセナイイベント「被災地の子供たちにピアノを」
チャリティーコンサート プログラム（ピアノ編）

2013.7.27 株式会社ミズノ内「ヴィレポヌール」

「赤松林太郎 ピアノソロ・リサイタル」

☆J.S.バッハ（赤松林太郎編曲）：主よ、人の望みの喜びよ

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ（1685～1750）はバロック時代のドイツの作曲家。現在耳にするほとんどの音楽の基礎を築いたといわれ、「音楽の父」とも称される。バッハの数々の教会音楽のなかから、「主よ、人の望みの喜びよ」。

☆ハチャトゥリアン（赤松林太郎編曲）：剣の舞（つるぎのまい）

ハチャトゥリアン（1903～1978）は、旧ソビエト領内（現アルメニア）の作曲家。この曲は、バレエ「ガイーヌ」の最終幕で、クルド人が剣を持って舞う戦いの踊りを表す。赤松さんのオリジナル編曲での「剣の舞」を。

☆ピアソラ（山本京子編曲）：天使のミロンガ

アディオス・ノニーノ（さよならお父さん）

リベルタンゴ

ピアソラ（1921～1992）…踊りの伴奏という元来のタンゴに、ジャズやクラシックの要素をプラスして“新しいタンゴの境地”を切り開いたアルゼンチンの作曲家。没後、急速に国際的な注目を集め、テレビCMなどにも多く使われる。ミロンガとは、タンゴの前身となったアルゼンチン、ウルグアイの民謡、舞曲の名。「リベルタンゴ」は、自由なタンゴの意。赤松さんの盟友、山本京子さんのピアノ編曲で3曲。

☆ショパン：幻想即興曲

ショパン（1810～1849）は、「ピアノの詩人」ともいわれるポーランドの作曲家。彼の多くの名曲のなかから、「幻想即興曲」。

赤松 林太郎…1978年生。第44回全日本学生音楽コンクール（1990年）で全国第1位・野村賞、第3回クララ・シューマン国際ピアノコンクール（2000年）で日本人初の上位入賞（第3位）を皮切りに、十指に及び国際コンクールで優勝・入賞を重ねる。神戸大学卒業後パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等音楽家課程ディプロマを審査員満場一致で取得。現在は年間60回以上の国内外での演奏活動を続けながら、各地での講座や審査も多く、月に100名以上の指導を務める。近年は新聞やタウン誌、専門誌への執筆も多く、『美しいキモノ』ではモデルも務める。日本リスト協会専務理事。日本音楽表現学会、日本フォーレ協会、関西ハンガリー交流協会の各会員。全日本ピアノ指導者協会正会員。2012年PTNA指導者賞(特級グランプリなど輩出)。

（文責 滝澤道幸）

（裏面に「歌とピアノ編」）

